

## 殺虫殺菌剤

### 箱維新<sup>®</sup>粒剤

クロラントラニプロール	0.75%
トリフルメゾピリム	0.75%
イソチアニル	2.0%
フラメトビル	4.0%

種類名/クロラントラニプロール・トリフルメゾピリム・イソチアニル・フラメトビル粒剤  
 農林水産省登録/第24130号  
 毒性/普通物<sup>\*</sup>  
 有効年限/5年  
 包装/1kg×12、10kg

## 特長

- 1剤で主要病害虫防除が可能です。
- ウンカ類やコブノメイガに対して優れた効果を示します。
- いもち病・紋枯病など主要病害に優れた効果を示します。

## 適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数 <sup>*</sup>	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り 50g	移植7日前 ～移植当日	本剤 1回 クロラントラニプロール剤 1回 トリフルメゾピリム剤 1回 イソチアニル剤 3回 〔移植時までの処理は1回、 本田では2回〕 フラメトビル剤 2回 〔移植時までの処理は1回〕	育苗箱の上 から均一に 散布する
	イネニズウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマクロコバヤ ニカメイチュウ イネツトムシ フタオヒコヤガ コブノメイガ	高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り 50～100g			

## 使用にあたって

### ■使用上の注意

- 育苗箱の上から均一に散布する場合、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの葉量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### ■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しなないように注意してください。
- いくさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいくさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

### ■水産動植物への注意

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**■安全使用上の注意**

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

**■貯蔵上の注意**

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。